

# 図書館だより



武雄高等学校 図書指導部  
令和元年 10月 17日発行

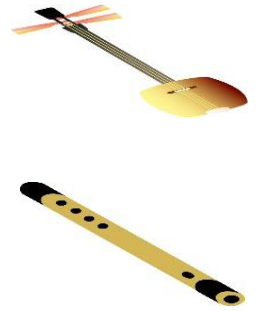
朝晩が冷え込むようになり、秋本番となってきました！！”読書の秋“というように、秋は読書にぴったりな季節なので、ぜひ図書館へ足を運んでみてください^^今回は、2年生の図書委員さんが、芸術鑑賞会の案内およびクラス読書会の図書紹介をします☆



## 芸術鑑賞会を開催！



芸術鑑賞会が10月18日(金)に開催されます！今年度は、和楽器集団「独楽」による和楽器鑑賞会です。普段あまり和楽器に触れる機会はないと思うので、ぜひこの貴重な機会に和楽器に親しんでみてください！



## 《クラス読書会について》

クラス読書会が11月5日(火)と11月12日(火)の二回にわたって行われます。そこで、今回は課題テキストの紹介をします。

### ◇一年生の課題テキスト◇

『車輪の下』 ヘルマン・ヘッセ【著】／高橋健二【訳】 新潮文庫

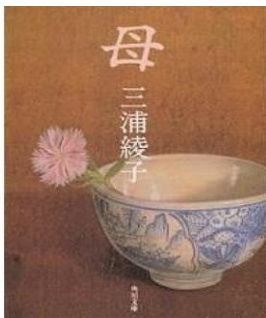


ドイツ南西部のシュヴァルツヴァルトという町に、ハンスという少年がいた。彼は町が始まって以来の天才児と呼ばれており、学校にもトップクラスの成績で合格する。

しかし、将来有望とされていた彼だったが、勉強ばかりしていた自分の人生に疑問を持ち、しだいに落ちこぼれていってしまう。ここでいう『車輪』というのは、社会や学校のことで、このような制度的な存在の車輪に踏みつぶされていくことによって変化するハンスの純粋な心に注目。

### ◇二年生の課題テキスト◇

『母』 三浦綾子【著】 角川文庫



「蟹工船」で有名な小林多喜二の母の物語。

秋田県釈迦内村、小作農と小さな蕎麦屋で生計を立てる貧しい家の娘にセキは生まれた。15歳で嫁いだセキは三男三女を育てたが、長男は病死。次男が多喜二である。多喜二は叔父の世話で大学まで卒業させてもらい銀行に勤める。そんな多喜二は、貧しい人の味方となって小説を書き反戦を訴え続けた。彼の小説は当時危険思想とみなされ遂に多喜二は国家権力によって殺されてしまう。セキは自分の息子が悪いことなどするはずがないと多喜二を信じ続けた。

そんな時、娘のチマに教会へ誘われる。そこでイエスの死について話を聞かされたセキは、何も悪いことをしていないのに殺されたイエスと多喜二の姿を重ね合わせ思いを巡らす。



## ◇新任の先生方のおすすめの本紹介◇

①永尾 純一先生（生物）

『天地明察』

冲方 丁【著】（角川書店）

②山口 正貴先生（英語）

『采配』

落合 博満【著】（ダイヤモンド社）

### ＜おすすめポイント＞

和算（数学）から始まり、  
囲碁、暦の改訂へと転がる物語。  
理（ことわり）にかける人々の夢と絶望、  
歓喜と悲哀。時代小説なので関孝和も水戸光圀も出てきますが、理系の生徒にも是非読んでほしい一冊。



### ＜おすすめポイント＞

野球だけにとどまらず、日常生活や思い悩んだ時にも、何か解決のヒントをくれる本です。



新任の先生方  
のおすすめの本  
は図書館にありますよ☆彡



## 《新着図書案内》

『引っ越し大名三千里』

土橋 章宏【著】（角川春樹事務所）

☆今年8月に映画化されました☆

徳川家康の血を引く譜代大名でありながら、生涯に七度の国替えをさせられ、付いたあだ名が「引っ越し大名」という不運の君主・松平直矩。またもや幕府から国替えを命じられたものの、度重なる激務によって亡くなった「引っ越し奉行」の役目を継がされたのは、引きこもり侍と後ろ指を指される若輩者の片桐春之介だった。「人無し・金無し・経験無し」の最悪の状況で、果たして姫路播磨から豊後日田への国替えは成功するのか？上司からの無茶振りに右往左往する武士たちをコミカルに描き、時代劇に新風を吹き込んだ新鋭が描く傑作時代小説。



『社会保障再考 <地域>で支える』

菊池 馨実【著】（岩波書店）

社会保障の真のあり方を再考し、今後、持続可能にするには？社会的に孤立したり、生活に困窮している人への各地での「相談支援」が、新たな可能性を育んでいる。それらを明らかにし、法律や社会保障制度のなかに位置づけながら、その先にある新たな”地域”づくりに注目する。未来への希望が見えてくる本。



これらの本以外にもたくさん  
の新着図書があります！！！！  
今話題の本や映画・ドラマの原作  
など♪気になる人はぜひ図書館へ☆